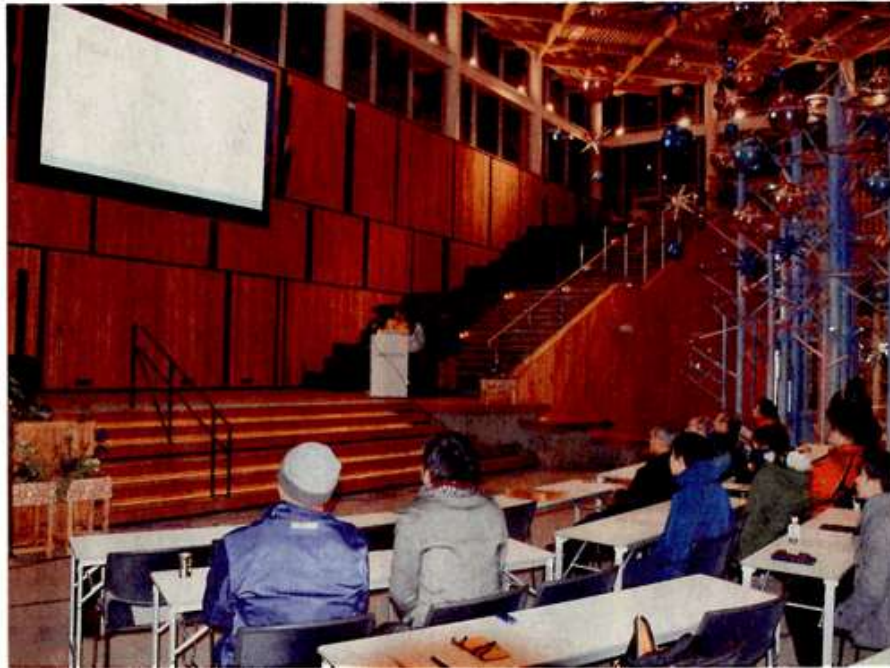


デーリー東北
2018年(平成30年)12月17日(月曜日)(12)

バスケットコート整備 キッチンカー誘致



学生が八戸市中心街の課題解決策を提案した中間報告会

八工大生が研究中間報告

八戸工業大は14日、八戸市にある研究の中間報告会を開き、まちなか広場「マチニワ」など、市などと共同で取り組む、市中心街の活性化に関する課題解決策を提案した。土木建築工学科の学生約30人が、マチニワに隣接する空き地の活用案や

マチニワ周辺の空き地活用策提案

「横丁」の環境整備といった課題解決策を提案した。同大と市、第三セクター「まちづくり八戸」の3者は2016年度、中心街の課題解決に向けた覚書に調印。市が示した課題に対して学生が実際に街なかに出向き、調査や研究を重ねた上で解決策を提言してきた。本年度のテーマは、マチニワ周辺の活用方策や八日町地区の活性化など6項目。

報告会では、マチニワ周辺の空き地について検討している学生が、バスケットボールコートの整備や、キッチンカーの誘致などの案を披露。中心街の関係者からは「具体的にどういった種類の店が良いのか、今後検討を重ねてほしい」との意見が上がった。

同大は来年1月30日、同市の「はっち」で最終報告会を開く予定。

(福田駿)